

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



千林晩風戦ぐせんりんばんふうせんぐ
(多くの林には夕晩の風が吹き動いている)

高 木 聖 雨 先生

参 考 手 本

千林晩風戦ぐ
せんりんばんふうそよ

高 木 聖 雨 先 生



※これは規定課題ではありません。

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)

B部 (四段~準三段)

集字聖教序 (東晋・王羲之)

明陰洞陽賢哲罕窮其數然而天地苞乎陰

浮 乘 清 郷 先 生

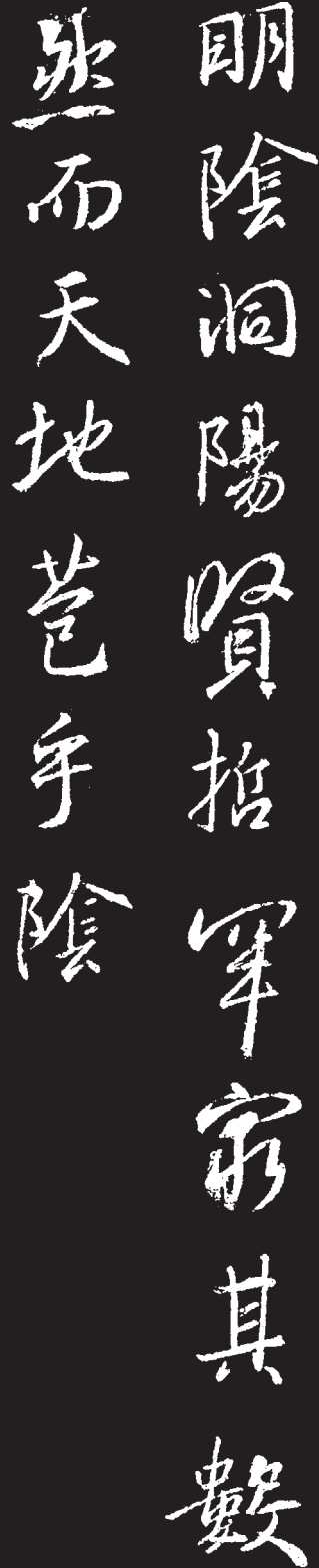
道因法師碑 (唐・歐陽 通)

事抑亦是同考業疇聲彼則非袞而以久居都



すみの江の松のみどりも紫の色にてかくる岸のふちなみ (読人しらす)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(3月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



早世是位

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

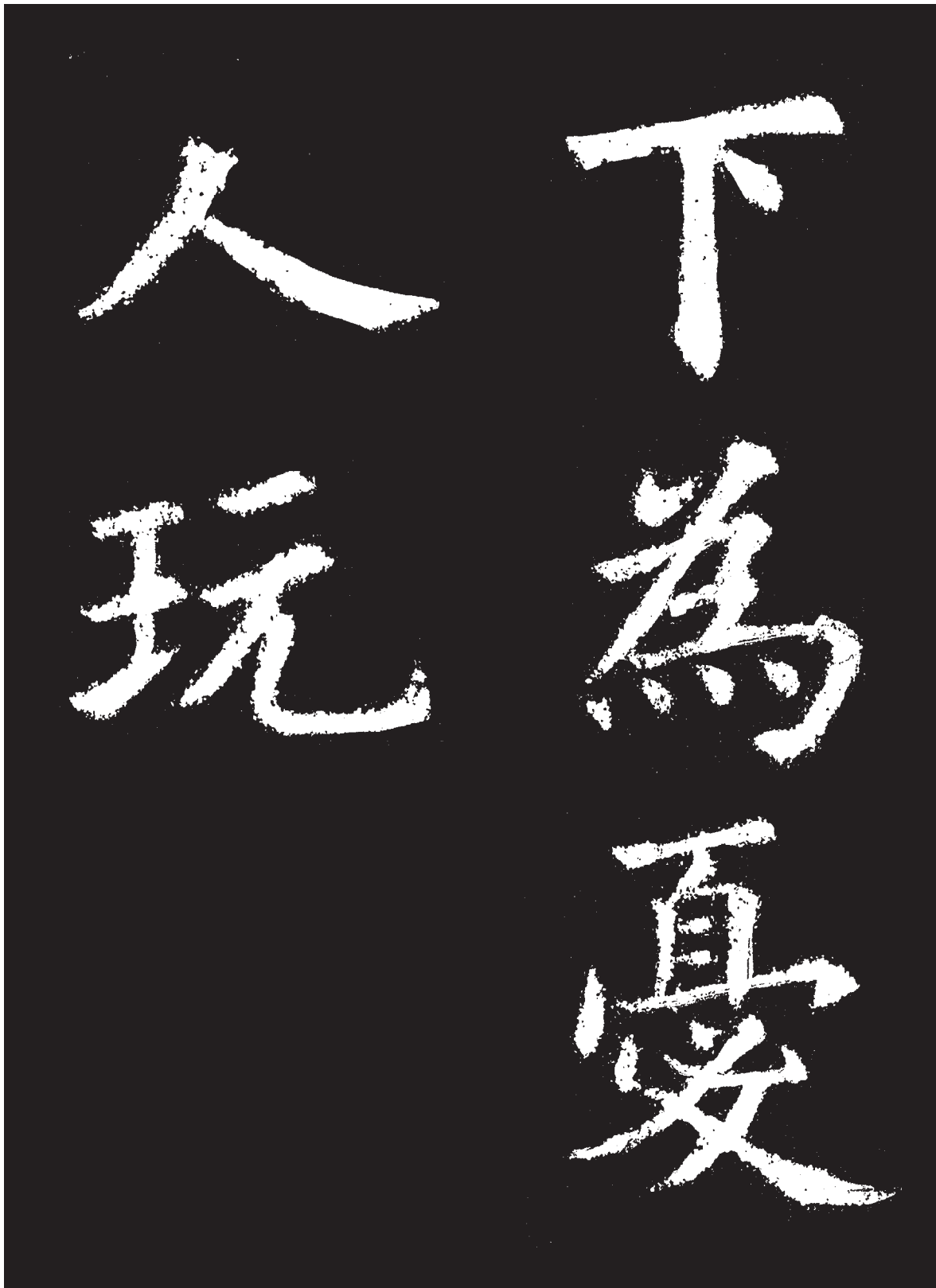
早世す。是を以て位は

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(3月10日締切)

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



下為憂人玩

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書
〔二級以下〕楷書

天下を憂と為す。人其の華を玩び、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(3月10日締切)

本 手 考 参 幅 条

牆角數枝梅凌寒
 獸自開遙
 知不是雪為有
 暗香來

翁志

鈴木翫惠先生

牆角數枝梅 凌寒獨自開 遙知不是雪 為有暗香來
 牆の角なる數枝の梅 寒を凌いで独り自から開く 遙に知る是れ雪ならずと 暗香の来る有が為なり

山田雪草先生

日裏颺朝彩 琴中伴夜啼
 上林如許樹 不借一枝棲
 日裏朝彩颺 琴中夜啼を伴ふ 上林許くの如きの樹 一枝の棲を借らず

雪草

日裏颺朝彩 琴中伴夜啼 上林如許樹 不借一枝棲
 日裏朝彩颺 琴中夜啼を伴ふ 上林許くの如きの樹 一枝の棲を借らず

条幅参考手本

人生歸有道 衣食固其端 孰是都不營 而以求自安

石田輝仙先生

人生歸有道 衣食固其端 孰是都不營 而以求自安
 人生は有道に帰するも 衣食は固より其の端なり 孰か是れ都て営まずして 以て自ら安きを求めんや

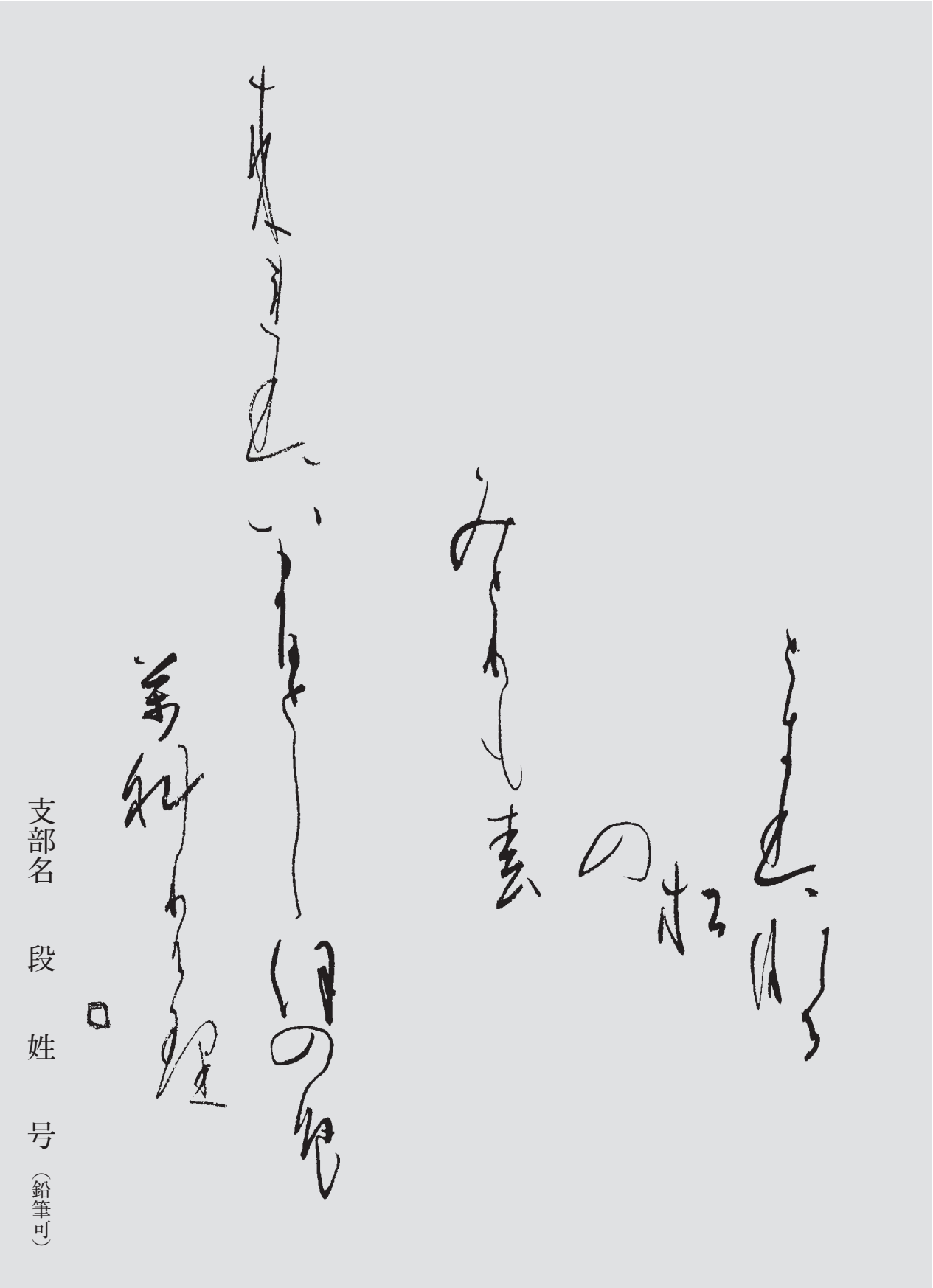
大井岳陵先生

小諸なる古城のほとり 雲白く遊子悲しむ 緑なす繁蕪は萌えず 若草も藉くによしなし しろがねの衾の岡辺 日に溶けて淡雪流る

小諸なる古城のほとり 雲白く遊子悲しむ 緑なす繁蕪は萌えず 若草も藉くによしなし しろがねの衾の岡辺 日に溶けて淡雪流る

半紙かな（初段以上）

ときはなる松のみどりも春来れば今日とほの色まさりけり（源宗于）
支盤 那 まつ 利 はるく 連盤 日 ほの いろ 萬利 个理



支 部 名 段 姓 号（鉛筆可）

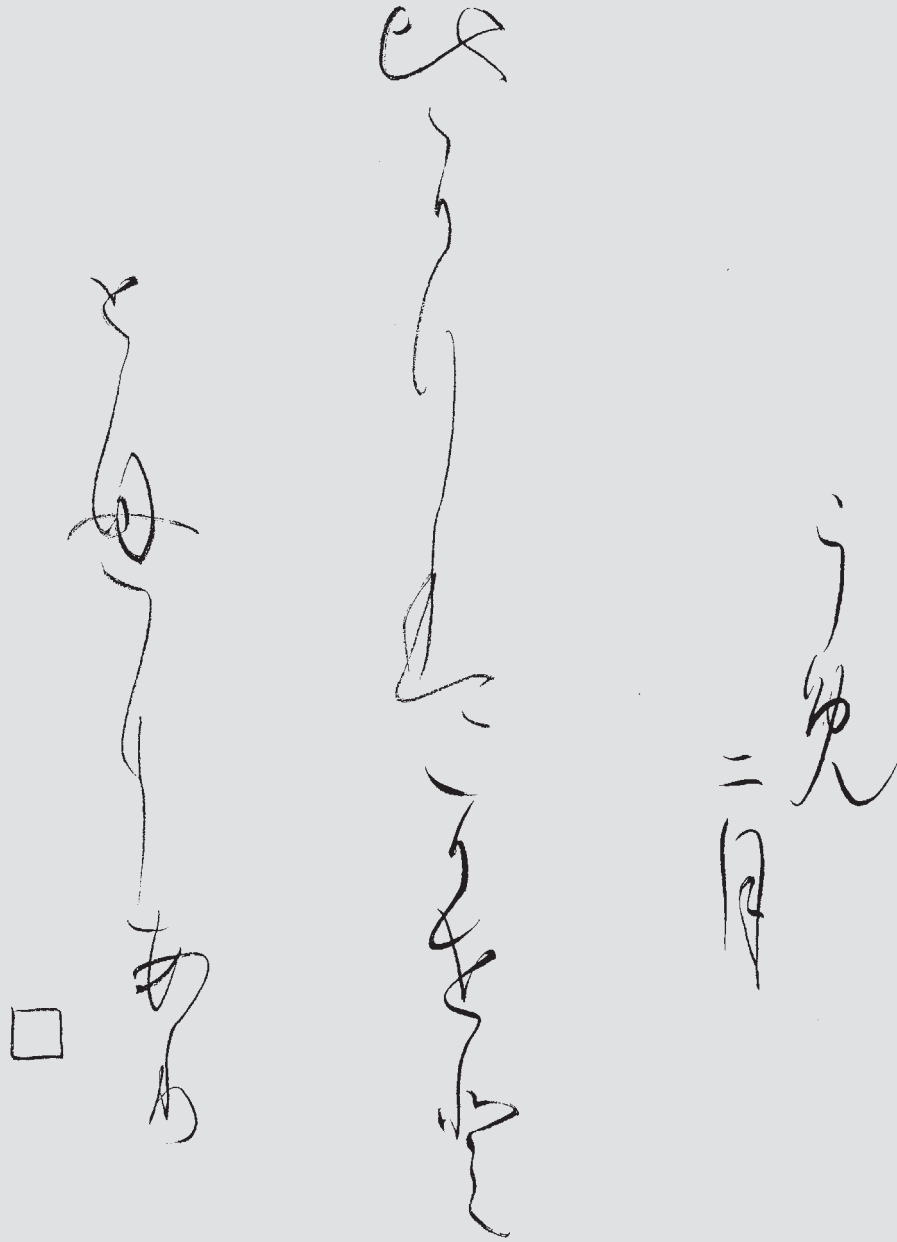
※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
 ※ちらし文字変換は自由

浮 乘 清 郷 先 生

（3月10日締切）

半紙かな（1級～8級）

梅^{うめ}二^に月^{がつ}ひ^ひか^かり^りは^は風^{かぜ}と^とも^もに^にあ^あり^り
う免 比 盤 母 利
（西島麦南）



支部名 級 姓 号 (鉛筆可)

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由

小林智峰先生

(3月10日締切)

実用文（準三段以上）

笑顔で鏡をのぞいたら鏡の顔が
笑ってた。怒った顔で
のぞいたら鏡の
顔も怒ってた。人も顔も同じこと
怒って話せば相手も怒り笑顔で
話せば相手も笑顔になる。

支部 五 姓 号

〈書風任意〉怒って話せば…怒り…話せば相手も…

塚田悠碩先生

（3月10日締切）

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

福は内鬼は外、今年はこの言葉をも

半紙に練習してみようと思う。

福が来るように書くか鬼が逃げ出

すように書くか翌日は立春大吉。

支部名

段級

姓号

田中奎堂先生

（3月10日締切）

細 字

※一級〜八級は草書まで。初段以上は隷書まで。

蒼そう 穹きゅう 銀ぎん 漢かん
 大空。 銀河。天の川。

斜しゃ 懸けん
 斜めにかかる。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

支 部
 段
 姓
 号

常 從 蒼 穹 星 戀 銀 漢 斜 懸
 為 從 蒼 穹 星 戀 銀 漢 斜 懸
 常 從 蒼 穹 星 戀 銀 漢 斜 懸
 常 從 蒼 穹 星 戀 銀 漢 斜 懸

硬筆（初段以上）

御一同様にはその後お変わりもな
お過ごしのこころ存じます。暖かな
春の訪れまで、もう少しです。时节柄
は自愛の程を。なお心ばかりの品お送
り致しました。ご笑納下さい。

支那名 氏 姓号

本院定型用紙一枚に書く

…时节柄… お送り…

青柳江雲先生

（3月10日締切）

硬筆（4級以下）

硬筆（1級～3級）

本院定型用紙・たて半分に書く

支部
級
姓
号

厳寒の訪れを前に、木枯らしがやんで
穏やかな日和に恵まれることがある。

田
辺
翠
鶴
先
生

支部
級
姓
号

厳寒の訪れを前に、木枯らしがやんで
穏やかな日和に恵まれることがある。

田
辺
翠
鶴
先
生

（3月10日締切）

中2用

支部名

段級

名

前

自由宗教の

田邊玉翠先生

中3用

支部名

段級

名

前

卒業を祝う

田邊玉翠先生

(3月10日締切)

小6用

支部名

段級

名

前

の残
谷雪

朝平霞山先生

中1用

支部名

段級

名

前

予定
今週
の

田邊玉翠先生

(3月10日締切)

小4用

支部名	し 雪
段級	
名前	さげ

朝平霞山先生

小5用

支部名	礼 お
段級	
名前	会 別

朝平霞山先生

(3月10日締切)

小2用

支
部
名

段
級

名
前

主
幹
菅
野
翠
濤

小3用

支
部
名

段
級

名
前

主
幹
菅
野
翠
濤

(3月10日締切)

中 1

もうすぐ鳥歌い、花咲
き乱れる春が訪れる。

中 2

行書は書写に適し、作
品にも多く書かれる。

中 3

自主的な判断や創造的
な意見を育てたい。

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

んみか

中1～中3

青柳江雲先生

(3月10日締切)

小1・幼年

まっしろいゆきがそら
からふってきた。

小1～小3

小 2

二月は一月で、もっ
ともさむい月です。

若 月 久美子

小 3

山から、黒いくもが空
にひろがってきた。

先 生

小 4

自分がいやと思うこと
は人にもしない。

小4～小6

小 5

節分の日をさかいに、
冬から春になります。

齊 藤 翡 流

小 6

北国では二月になって
も雪の降る日もある。

先 生

(3月10日締切)

小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

梅かおる

春の夜

読み||夕ゆうわかれする子供こどもらに山やまの雪ゆき
季語||「雪」

遠くの雪山だけがまだ明るく見える夕暮、子供達が散りぢりに家へ帰って行く、というのである。静かでもの淋しい冬の夕暮れの句。

船久保 棠 苑 先生

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

夕わかれ

する子供らに山の

雪

(3月10日締切)